

平成29年度
福島町議会定例会
12月会議議案

- 報告第7号 福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告について

福島町

答弁指定事項進捗状況調書一覧

整理No.	質問要旨	議員名
18	松前半島道路整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について	平沼 昌平
21	高齢者福祉関連事業を一つにまとめ展開を理解しやすくする検討を	平沼 昌平
22	定住・移住促進に向けた考え方について	平沼 昌平
23	定住促進住宅等奨励事業	川村 明雄

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H28. 6. 22
開催日	H28. 6. 21	議案名等		一般質問 （松前半島道路の整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について）	
会議名	定例会6月会議				
質問要旨		【松前半島道路の整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について】 松前半島道路が必要だという住んでいる方々の思いを内外に示すのは、やはり各町の首長だと思う。アピールするために看板など何らかの手法や広報に掲載するなどの活動が必要と感じているが如何か。 緊急時に対応した松前町と福島町間の新たな路網整備について、今はルートが2本ある。松浦～白神間は松前町と協議して道道への昇格を要望しているが、今現在、緊急時に対応できる道路となっているのか。			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		高規格道路が必要だということは2市4町の首長はみんな同じ思いだと思う。今後は、期成会の中でも積極的に発言し、また、機会あるごとに2市4町の首長で意見交換しながら実現に向けて事務を進めていきたい。 228号線については我々も危惧しているところです。松前と福島の間が国道1本という状況で、台風シーズンになると町民にご迷惑をかけている。就任以来、機会あるごとに関係機関の方には訴えている。松前半島道路については、地方という形の中で高規格を整備するという事で江差の路線とはちょっと違う。現道を利用しながらでもできるし、色んな手法があるということも聞いていますので、松前半島道路は半島道路としてきちんと要望はしていきますけれども、まずは第一に今のある現道が通行止めにならない方法があると思っていますし、また、開発の所長さん方もしっかり知恵を出しながら、やれる手法があるという意見もいただいていますので、今ある道路をなるべく通行止めにならないことを優先にしながら、且つ松前半島道路も第二次路線確保という意味からも必要ですので、皆さんの意見を受けながら町民の代表としてやっていきたい。その中でも、柔軟な対応の中で一日も早い実現に向けてこれから作業を進めるなり、要望活動をしていきたいと思っています。			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	実施不可	
取り組み状況		<p>■平成29年12月1日 現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29. 11. 15 松前半島道路建設促進期成会東京要望（町長出席） （北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会、高規格幹線道路函館・江差自動車道早期建設促進期成会、函館広域幹線道路整備促進期成会と合同で実施） ・H29. 11. 16 渡島西部4町商工会・議会・町合同による東京要望（商工会副会長・議長・町長出席） 			
調査を終了する本会議		平成30年度定例会6月会議			
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H29.3.17
開催日	H29.3.14	議案名等		平成29年度一般会計予算 (高齢者福祉関連事業を一つにまとめ展開を理解しやすくする検討を)	
会議名	予算審査特別委員会				
質問要旨		<p>高齢者福祉に関連した様々な予算、事業がある中で四季を通じて見守る組織作りがこれから我々の町としてもっとも必要なことと考えます。</p> <p>内容はそれぞれあるが、考え方の根幹は同じだと思う、四季を通して高齢者がどういう状況でどうしてももらいたいのか、情報をいち早く得ることと、特に冬期間に町内の事業者、次世代を担う若い方々の雇用の場の創出を考え、組織編成し、意見を聞きながら高齢者に向けたサポート事業の展開をなされた方が良いと思うが町長のお考えを伺いたい。</p>			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		<p>選挙公約に掲げている、高齢者の方々が住み慣れている福島でいかにして暮らしていくかをサポートするのが行政の役割と考えている。新しいニーズで若い人の雇用が生まれるのが理想だが、まだその組立が出来ていない、町民の半分が高齢化している中で大事どころだと認識している。高齢者が、都会に行くことなく福島で最後まで住み続けるため私たちがいかに応援できるか、その中で若い方の仕事が作られれば相乗効果として良いので、社会福祉協議会等の関係団体の意見を頂き、話し合いの場を持ちながら将来に向けた政策の構築に努めていきたいと思っています。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	対応中		実施不可
取り組み状況		<p>■平成29年12月1日 現在</p> <p>11/15社協と高齢者の冬期間除排雪について協議を実施 社協による安心生活訪問調査により、町、社協の除排雪事業について助成制度を知らない世帯があるとの報告があり、まずは制度の周知を優先に、町広報12月号で、町助成制度と社協除雪ボランティア事業の記事を掲載し、高齢者の冬期間の除排雪に対する不安の解消を図ることとした。</p>			
調査を終了する本会議			平成30年度定例会3月会議		
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H29. 9. 22
開催日	H29. 9. 15	議案名等		定住・移住促進に向けた考え方について (一般質問)	
会議名	定例会9月会議				
質問要旨	<p>町長は1回目の答弁の中で定住促進なり水産業、農林業それぞれに奨励金を出して、それなりの成果を得ている、また、出産祝金を始めてからは第3子以降の出生数が増加傾向にあり、人口減少の緩和を見ていることから一定の成果は上がっているという判断の下でまだ検証はしていないということですが、総合計画の後期実施計画策定までに制度の検証をしていきたいという考えでよろしいですか。</p>				
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)	<p>施策や制度については、一般的に3年から5年を目途に検証を加えながら、改善があれば加えていくという形が一般的と考える。当制度は平成24年度、村田町長時代に私が企画を担当した時に制度化して、今に至っており、自分が選挙公約で追加したのもあり、若い人達の子育て環境に力を入れたいということで、進めている。本来、制度が走ってもう6年以上経過し、その間しっかり検証すべきだったが、しっかりした検証を役場全体として行っていないが、総合計画前期の中では、この制度を継続することを考えている。後期にあたっては、財政的な問題、時代の変化もあると思うので、改正が必要であれば直していく。継続するものは継続し、新しいものが必要であれば、取入れていくという形で、内部でしっかり検証していきたいと思っています。</p>				
対応・進捗状況	対応済み (平成 年 月 日)	対応中		実施不可	
取り組み状況	<p>■平成29年12月1日 現在</p> <p>定住・移住施策の検証については、これまでの成果や課題などの洗い出しまた、これまで制度の対象となった方から意見を聴取することなども必要でありますので、検証方法等について担当課を中心に協議を進めております。</p>				
調査を終了する本会議		平成31年度定例会12月会議			
その他参考事項	追跡内容は上記の1項目としました。				

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	川村 明雄	確認年月日	H29. 9. 22
開催日	H29. 9. 21	議案名等		定住促進住宅等奨励事業費 (平成28年度福島町一般会計歳入歳出決算認定 について)	
会議名	決算審査特別委員会				
質問要旨		<p>同制度での中古住宅購入は500万円以上でなければ該当にならないが、福島町の現状は500万を超える取引が年に1件あるかないかであり、ほとんどが500万以下。若い人は100万円以下で取引し、リフォームして住み、リフォーム代の方が取得費よりも莫大に高いという現状があることから、中古住宅取得の下限については100万円以下まで対象とし、助成額も固定額ではなく購入価格の10パーセントとしたほうが有効と考える。また、リフォーム代の他に、不動産取得税、固定資産税等、住宅取得後の費用もあることから、現状を十分分析し、福島町の現状にあった定住対策を進めて頂きたいと思うが町長の考えは。</p>			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		<p>当初、制度を作った後しっかりとした検証はしていないが、需要が本当にあるのであれば、制度を変えて行くのは問題なく、本当に若い人が中古物件を安く買ってリフォームして住んでいくのであれば、そこに補助して行くのはなんらおかしいことではないと思っている。 しっかりと検証させて頂いて次のステップに進みたいと思います。今すぐ制度を変えるのではなく、しっかりと状況を捉えて、若い人たちの需要があるのであれば、前向きに政策を組むのが私の仕事ではないかと思っている。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中		実施不可
取り組み状況		<p>■平成29年12月1日 現在</p> <p>定住促進住宅等奨励事業の検証については、町内における中古住宅の取引実態を把握することが必要でありますので、まずは、庁内における資料等で把握が可能な範囲において調査を進めてまいりたいと考えております。</p>			
調査を終了する本会議			平成31年度定例会12月会議		
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			